

第（ 3 ）年 前期（4月～3月） 国語科の授業

国語科の目標・特性	<p>○人生・人間・世界について考え、よりよく生きる力を伸ばす。</p> <p>○言語に関するいろいろな力を方法として身につける。</p> <p>○言語に関するいろいろな活動を自覚的、総合的に体験する。</p>
評価の観点	<p>関心・意欲・態度 国語と国語学習に対して、関心・意欲を持って取り組もうとしている。</p>
話す・聞く能力	<p>目的や場面に応じ、正しく豊かに話したり聞いたりすることができる。</p>
書く能力	<p>相手や 目的に応じ、正しく豊かに表現することができる。</p>
読む能力	<p>様々な文章を正しく豊かに読み取り、自分の考えを深めることができる。</p>
知識・理解・技能	<p>言語に関する知識や活動の仕方を理解し、身に付けている。</p>
題材名（実施月）	<p style="text-align: center;">到 達 目 標</p>
<p>授業内容 単元構成</p> <p>4月 わたしを束ねないで握手</p> <p>5月 言語① 漢字① 相手を意識して伝えよう</p> <p>6月 メディア社会を生きる 文法① 漢字②</p> <p>7月 新聞の特徴を生かして書こう 俳句の可能性 高瀬舟</p> <p>9月 挨拶 故郷 言語② 漢字③</p> <p>10月 古今和歌集仮名序 君待つと 夏草 学んで時にこれを習う</p> <p>11月 漢字④ 生き物として生きる</p>	<p>・作品から作者の思い・物の見方・感じ方をとらえる。表現技法に合う朗読を工夫する。</p> <p>・登場人物の言葉・動作から、人柄や心情をとらえ、生き方について考える。</p> <p>・敬語について理解し、実践に役立てる。</p> <p>・形に着目して漢字を考え、実践に役立てる。</p> <p>・情報を正確に把握し、相手に合わせて情報を再構成する。わかりやすさを意識して話す。</p> <p>・メディアとはどのようなものかを考え、問題意識を持つ。</p> <p>・メディア社会の生き方について自分の意見を持つ。</p> <p>・助詞と助動詞について理解する。</p> <p>・異なる意味を持つ漢字について学習し、実践に役立てる・</p> <p>・二つの記事の読み比べ・まとめの方法を身につける。</p> <p>・身近な出来事を新聞記事に書く。</p> <p>・俳句について理解し、表現の深さを味わう。俳句を作る。</p> <p>・作品を読み味わい、人間の生き方について考える。自分の読書の幅を広げる。</p> <p>・一貫して流れている主題について考え、現実の世界のあり方と対応させて読み取る。</p> <p>・登場人物を取り巻く状況や時代背景を読み取り、社会と人間との関わりを考える。</p> <p>・情景や表現に着目し、登場人物の心情や作者の意図を読み取る。</p> <p>・比喻と慣用句を理解し、実践に役立てる。</p> <p>・熟語の読み方を知り、実践に役立てる。</p> <p>・仮名遣いに注意して音読し、言葉の響きや調子を味わう。</p> <p>・和歌に表れた昔の人の思いや情景を読み味わい、和歌についての理解する。</p> <p>・作者の物の見方感じ方を読み取り、文体の特徴にも注意して読み味わう。暗唱。</p> <p>・現代にも通じる昔の人の物の見方や考え方を読み取る。漢文に読み慣れる。</p> <p>・身の回りの漢字について学習し、実践に役立てる・</p> <p>・筆者の考えをもとに、生きることと科学技術についての考えを深め自分の考えを持つ。根拠や理由に着目しながら、論理の展開をとらえる。</p>

説得力のある文章 を書こう 1 2月 文法③ 漢字⑤ 炎を見ろ 1月 アラスカとの出 会い 温かいスープ 奈々子に 3月 はじめに・・・に ついて 未来に向かって 漢字⑥	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の主張を根拠を挙げて表現する。そのための効果的な構成を工夫し意見文を書く。 ・コミュニケーションについて理解し、実践に役立てる。 ・反対の意味の熟語・似た意味の熟語について知り、実践に役立てる。 ・文章を読んで、文化を受け継ぐ人々の思いを知る。 ・作品や文章を読んで「出会い」「未来」「人間」「言葉」などについて考える。 ・作品や文章を読んで「出会い」「未来」「人間」「言葉」などについて考える。 ・作品や文章を読んで「出会い」「未来」「人間」「言葉」などについて考える。 ・これまでの生活を振り返り、自分の未来について考える。 ・漢字の総まとめをし、実践に役立てる。
学習に使用する教科 書・副教材・道具・ ファイルなど	教科書・ワーク・単元別漢字・ノート・辞書

学習の前に

- ・自主勉強ノートを提出する。
- ・意味調べ等もできているのが望ましい。

授業中

- ・集中すること。
- ・ノートをとる。自分なりの書き込みのあるノートにしていく。
- ・自分の考えを書くときは、しっかり、一定量以上の文書く。(単語等で終わらない。)
- ・発表のチャンスをいかす。
- ・班、個人ともに班員、級友の意見を大切にす。

学習後

- ・ワーク等で授業の確認・理解を進める。さらに練習問題等も繰り返しやっておく。
- ・自分のノート作りを完成させる。併せて意味調べ等もやっておく。
- ・授業時間だけでなく、自分の知識、国語力を伸ばせる方法にチャレンジする。(読書等)

評価の仕方

- | | |
|--------|-----------------------|
| ・興味・関心 | 授業の姿勢、提出物 |
| ・聞く・話す | 発言・発表・話し合いの様子、聞き取りテスト |
| ・読む | 理解を中心として、定期考査 |
| ・書く | 書写、ノート、作文、感想文等、定期考査 |
| ・言葉 | 漢字テスト、文法、定期考査 |

*あらゆる学習場面を対象とする。

先生からのメッセージ

- ・国語の学習は、日本語で書いてあれば、すべて対象と考えるべし。何にでも興味を持つこと。何にでも、自分の学習に結びつけることを心がける。
- ・読書を心がける。いわゆる名作といわれるものも読んでおく。(今しか読めない、感動できない)